

山行報告書

京都田辺山友会

報告者 岡本

山名	多紀連山		山行名	例会
ルート	御嶽道登山口→大岳寺跡→御嶽→大たわ→小金ヶ嶽→福泉寺跡→御嶽道登山口			
山行日	2024年9月11日(水)		天候	快晴
参加者	リーダー：岡本 男性：木田、小泉、中西		サブリーダー：山本 女性：米田 合計：6名	

ルート概略図	コースタイム					
	地名		時：分			
	御嶽道	集		小金ヶ嶽	着	12:35
	登山口	発	8:30		発	13:09
	鳥居堂跡	着	9:14	福泉寺跡	着	13:31
		発	9:25		発	13:35
	大岳寺跡	着	9:38	火打ち岩	着	14:29
		発	9:43	停留所	発	14:30
	御嶽	着	10:21	御嶽道	着	14:30
		発	10:40	登山口	発	
	小金ヶ嶽	着	11:10		着	
	登山口	発	11:45		発	

山行報告

9月に入ってから連日の猛暑続き…当日も熱中症警戒アラートが発令されている中、今回は入会后、山友会の例会初参加のNさん(実は多紀連山には3回目だそう)も来られて賑やかで暑い山行となりました。

無料の駐車場にポツンと1台の車を止め、民家の間を通り抜けて御嶽道登山口を入れていきなりの急登に息を切らしながらのスタート。

昔は吉野の大峰山よりも栄えた修験道の行場だったという歴史のある鳥居堂跡や大岳寺跡に思いを馳せたり、蜘蛛の巣に何度も引っ掛かりその度に悲鳴を上げたりしながら頑張った御嶽や小金ヶ嶽山頂からの眺望は開けていて、今まで登ったことのある山を遠くに望むこと出来ました。途中にはフォレストアドベンチャーもありジップラインや杉の木の上にステージや回廊があつてとても楽しそうで、山行抜きで遊びたいと思ってしまいました(笑)

またクリンソウ群生地もあり、今度は5月頃に訪ねてみたいなあとも思いました。

岩場あり鎖場ありアップダウンありと盛りだくさんでとても楽しい山行でした。

下山後、湯の花温泉にて今日一日の汗を流し、帰路につきました。



【小金ヶ嶽から見た御嶽】

ヒヤリハット;なし

中西

本年5月に入会した中西です。入会后、初めての山行で少し不安がありましたが皆さんが声かけをしてくださり楽しく過ごすことができました。

今回挑戦した山は、御嶽(標高 793m)から小金ヶ嶽(標高 725m)までの 8.5 kmです。天候には恵まれましたが残暑が厳しく汗が滝のように流れる一日でした。このコースは私自身3回目ですがメンバーが違くと楽しさも違う事に気づき良い山行でした。

御嶽登山口からの急登をポチポチ登ると今度は、激下りの階段です。この頃にはお腹が空き昼食でエネルギー充電をした後、岩山への挑戦が始まります。鎖場あり、トラバースありでアスレチックを楽しみました。

下山後は暑さでクタクタになりましたが、皆さんと和気あいあいの山行で有意義な日を過ごす事が出来ました。ありがとうございました。

山本

とにかく久しぶりの山歩き。夏山のトレーニングで7月半ばに歩いたぶり。コロナ感染で夏山も断念、その後はこの暑さで近辺を歩く気にもならないのと予定や天候が合わず、ほぼ2ヵ月ぶりの例会参加。正直、不安でした。歩けるだろうか…毎日続けてるスクワットくらいで力量保てる？

はい、案の定歩けない！キツイ！呼吸もツライし足の動きもままならない。どーした、私！！コロナに負けたっきり？様子に気づいたメンバーにザックごと分配して持ってもらうことになり、普段はほとんど使わないストック頼りに必死で登る。リタイアだけは避けたい…変な意地もあってとにかく足を前に出すことに集中する。それでも荷物がなくなっただけで、足取りは軽くなった。皆さんに感謝。

なんとか、昼食を取るまでの休憩地まで辿り着け食事を取ってみたら、あれさっきまでと違う気がする、ザックも背負えそう、歩けそう。はい、シャリバテ、空腹による低血糖とかでしたか、私。

そこからは「自分の荷物は自分で背負って歩く」基本に戻り、山を楽しめました。御嶽山頂と小金ヶ嶽山頂での写真にその差が出てると思います。笑。

途中、足を滑らせふくらはぎが吊ったこと、靴底が剥がれて応急措置としてテープで巻いてもらったこと、もちろん荷物を持ってもらったことも含めて、今回の山行は皆さんにお世話になったことでゴールできました。

特に新入会されたNさんに一際お世話になり、入会を後悔されないかと不安です…笑。

急登も岩場も鎖場も沢渡りも、体調調整えてまたチャレンジしたいコースでした。

ありがとうございました。



【御嶽山頂】



【小金ヶ嶽山頂】